

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI 会長／ステファニー・アーチック
RI.D2590ガバナー／長戸はるみ
横浜旭RC会長／北澤 正浩

ガールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33／〒241-0836
TEL.080-1215-6668／FAX.045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.org>
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川駅ジョイナステラス3／4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2025年3月19日 第2574回例会 VOL.56 No.27

■司会 SAA 関口 大樹

■開会点鐘 会長 北澤 正浩

■出席報告

会員数	21名	本日の出席数	13名
本日の出席率	65.00%	修正出席率	80.00%

■本日の欠席者

日向、草柳、中谷、二宮、宋、佐藤（真）、佐藤（勉）

■ゲスト

鈴木 恭子様（県立二俣川看護福祉高等学校校長）

大内 良臣様（県立二俣川看護福祉高等学校副校長）

■会長報告 北澤 正浩

皆さま、今晚は。

もうすぐ春を感じる季節になったと思った矢先、今朝の雪には驚かされました。寒暖差の激しい日々が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。春の訪れを感じるにはまだ遠いのかと思いきや、来週の中盤には所によっては気温が25度に達し、夏日となる地域もあるそうです。まるで春を通り越して一気に夏になってしまうのではないかと、近年の気候の不安定さが心配になります。四季の美しさが失われつつあるようで、自然環境の変化に対する意識を改めて持たねばならないと感じるところです。

こうした気温の急激な変化が健康に影響を及ぼしているのかもしれませんが、残念なお知らせがあります。会員の佐藤勉さんが体調を崩され、しばらく例会をお休みされることになりま

した。日頃よりクラブを盛り上げている佐藤さんが不在となるのは寂しい限りですが、まずはしっかりと静養され、一日も早い回復を心よりお祈り申し上げます。皆さまご自身の体調管理には十分にご留意ください。

さて、先週、会長幹事会が開催され、私も出席してまいりました。その場で残念な報告がありましたが、横浜港南台ロータリークラブが解散されたそうです。ロータリークラブの仲間が減ってしまうことは非常に残念なことです。解散の理由は様々あるようですが、特に会員数の減少が大きな要因であったと受け止めています。

当クラブも決して会員数が多いとは言えません。しかし、ロータリークラブの活動の本質は、会員一人ひとりの熱意と行動にあると信じております。これからも会員増強には力を入れていきましょう。また、少人数では活動の幅が制限され、クラブの存在意義が薄れがちになります。だからこそ、今こそ一致団結し、会員一人ひとりが積極的に関わり、クラブを盛り上げていくことが大切だと改めて感じました。私たちの活動を通じて、地域社会に貢献し続けることができるよう、皆さまとともに良いクラブを築いていけるようがんばっていきましょう。

本日は、二俣川看護福祉高等学校の鈴木恭子先生をお迎えし、学校の歴史や学科改変についてお話をいただきます。医療・福祉の分野は、

私たちの生活に密接に関わる大切な分野です。看護・福祉の専門職を目指す若者たちが、どのような環境で学び、どのような未来を描いているのか、非常に興味深いお話になるかと思えます。貴重なお話を伺えることを楽しみにしております。

どうぞよろしく願いいたします。

■ロータリーの友紹介 新川 尚 横組み

p. 6 / ロータリーとは

ロータリークラブとはどのようなものなのかの説明に使えますと思います。

p. 7 ～ / 水と衛生

「トイレが使えない恐怖」

災害時のトイレ事情と影響。

当クラブの3か年計画に通じる内容となっています。

p. 22 / ガバナーのロータリー・モメント

第2830地区ガバナー花田勝彦さんのチームポリオジャパンでの活動が報告されています。

p. 23 / 当地区ガバナー長戸はるみさんの記事も掲載されています。

p. 38 / エバンストン便り

手前味噌ですが、ポリオのない世界を日指す奉仕賞受賞の記事です。

p. 40 / 内外よろず案内

春開催 F 1 日本グランプリ会場に集まれ！チケット代は高いですが、来年は皆さんで行きたいですね。

縦組み

p. 4 ～ / SPEECH

財産と命を守る防犯マニュアル

主に詐欺被害から身を守る方法が掲載されています。

p. 18 / 友愛の広場

「落語で学ぶロータリー」

当クラブでも是非招聘して、お話を聞いてみたいと思います。

■ニコニコ BOX

北澤 正浩／鈴木恭子様、大内良臣様、本日はご来場いただきありがとうございます。

市川 慎二／鈴木恭子校長先生、大内先生、本日は大変お忙しい中、卓話ありがとうございます。

す。

新川 尚／鈴木校長、大内先生、本日は宜しくお願い致します。

安藤 公一／鈴木校長、大内副校長ようこそおいで頂きました。本日は宜しくお願い致します。

五十嵐 正／二俣川看護学校校長鈴木様、副校長大内様、本日はお忙しい中、クラブ例会にご参加頂き話ありがとうございます。

目黒 恵一／鈴木恭子校長先生、大内良臣副校長、本日はお忙しい中、お越し頂きありがとうございます。卓話よろしくお願いします。

岡田 隆／鈴木恭子校長先生、大内良臣副校長、本日はお忙しい中、お越し頂きありがとうございます。卓話よろしくお願いします。

田川 富男／鈴木恭子校長先生、大内良臣副校長先生、本日の卓話よろしくお願いします。

関口 大樹／神奈川県立二俣川看護福祉高等学校鈴木様、本日の卓話、よろしくお願いします。

中島 徹／鈴木恭子様、大内良臣様、本日は卓話宜しくお願い致します。

関澤 信吾／鈴木恭子校長先生、大内良臣副校長、本日はお越し頂きありがとうございます。卓話楽しみにしております。

■卓話「二俣川看護福祉高等学校」紹介

鈴木 恭子様（県立二俣川看護福祉高等学校校長）



▶二俣川看護福祉高等学校の61年間

・昭和39年4月／二俣川高等学校として創立！全国初の准看護師養成をする高等学校として開校。

・昭和42年4月／神奈川県立衛生短期大学付属二俣川高等学校として校名を改める。

・平成12年4月／看護科（1クラス）を福祉科（1クラス）とする。

・平成14年4月／衛生看護科を改編し、看護

科（2クラス）となり、福祉科（2クラス）となる。

・平成15年／神奈川県立二俣川看護福祉高等学校に校名を改める。

看護科（2クラス）福祉科（2クラス）でスタート！
「神奈川県のヒューマン・サービスを担う人材の育成！」

・平成26年／創立50周年記念事業を実施！

・令和6年／創立60周年記念事業を実施！

＋「HANDSIGN」（芸術鑑賞会）

▶新たなステージへ 看護科が普通科へ

・令和7年度

「二俣川高等学校」に校名を改める！

学科改編

⇒看護科（2クラス）⇒普通科（3クラス）

⇒福祉科（2クラス）⇒福祉科（1クラス）

「伝統を継承し、未来へ羽ばたき進化する」

本校のこれまでの校風を大切に

社会へ貢献できる人材をこれからも育成していきます！

普通科3クラス福祉科1クラス

▷看護の心 Nurasing

▷奉仕の心 Serve

▷福祉の心 Welfare

社会に貢献し、活躍できる人材の育成

▶普通科について

特色のある普通科がスタート！（普通の普通科ではありません。）

創立61年間で培った、教育活動や進路支援・進路実績の強みを生かして！

★選択科目や短期集中講座などで、「看護・医療・保健等の分野」の専門科目を学べる！

★外部機関との連携で、体験的・実践的な学びがある！

★3クラスの小規模だから、生徒の絆が深くなる！

▷特色ある選択科目

★基礎看護／看護の基礎的な知識・技術や看護の役割を学ぶ。

★看護総合／看護を幅広い分野から学び、看護の役割や機能についての理解を深める。

★医療理科／主に看護・医療・保健等に係る化学・生物分野の基礎から、発展的な内容まで横断的に学ぶ。

★地域支援学習／地域との連携を図り、多職種の役割や活動・連携の在り方などを学ぶ。

★社会福祉基礎／社会福祉に必要な基礎的な知識を学ぶ。

▷夢を広げる夢に近づく

大学をはじめとする上級学校への進学支援！

「看護・医療・保健等の分野」だけでなく、幅広い多様な進路選択が可能！

▶福祉科について

福祉科も変化の時

クラスになり、より手厚い指導へ

実習室が新しくなり、より充実した環境で福祉科の授業が受けられます。

▷臨地実習

〈1年生〉・・・見学中心

・特別養護老人ホーム

・ライトセンター（視覚障害支援センター）

・県立がんセンター

・リハビリテーション病院

・大学病院

・血液センターなど

〈2年生〉・・・見学・体験

・病院（4日間）

・専門病院

・養護学校

▷令和8年度まで看護科は存続します！

令和7・8年度は3科（看護・福祉・普通）があります！ぜひ、見学にきてください！

令和6年度

部活ドリーム大賞受賞！

準グランプリ受賞

かながわ部活アクティブ賞 手話部

神奈川部活キャプテン賞 軽音楽部

ご清聴ありがとうございました。

01 普通科について																													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 学年	現代の国語①	英語文化①	地理総合①	公共①	数学Ⅰ①	数学A①	化学基礎①	生物基礎①	体育①	保健①	音楽Ⅰ or 美術Ⅰ①	英語コミュニケーションⅠ①	情報Ⅰ①	総合的な探究の時間①	LHR														
2 学年	論理国語②	英語表現②	歴史総合②	数学Ⅱ②	物理基礎②	体育②	保健②	英語コミュニケーションⅡ②	論理・表現Ⅱ②	家庭総合②	必修選択α②	総合的な探究の時間②	LHR																
3 学年	論理国語③	英語表現③	体育③	英語コミュニケーションⅢ③	論理・表現Ⅲ③	家庭総合③	必修選択β③	必修選択γ③	自由選択④～⑧	総合的な探究の時間③	LHR																		

2025年度2月出席率一覧表										
員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	
1	安 藤 公 一	100	0	100	12	二 宮 麻 理 子	0	0	0	
2	福 村 正	67	0	67	13	岡 田 隆	67	33	100	
3	日 向 彰	0	0	0	14	佐 藤 真 吾	100	0	100	
4	市 川 慎 二	100	0	100	15	佐 藤 利 明	―出席規定免除―			
5	五十嵐 正	100	0	100	16	佐 藤 勉	100	0	100	
6	北 澤 正 浩	100	0	100	17	関 口 大 樹	100	0	100	
7	草 柳 孝 広	100	0	100	18	関 澤 信 吾	100	0	100	
8	増 田 嘉 一 郎	―出席規定免除―			19	宋 謹 衣	0	0	0	
9	目 黒 恵 一	100	0	100	20	田 川 富 男	100	0	100	
10	中 谷 逸 希	0	0	0	21	中 島 徹	100	0	100	
11	新 川 尚	67	67	134	22					
例 会 日		5 日	1 2 日		1 9 日				平 均	
例会出席率		$\frac{15}{20}$	75.00 %	$\frac{14}{21}$	66.67 %	$\frac{16}{21}$	76.19 %			
修正出席率		$\frac{16}{20}$	80.00 %	$\frac{15}{21}$	71.43 %	$\frac{16}{21}$	76.19 %			75.87 %

未来のためのワークショップ

7月以来、イスタンブールの4つのロータリークラブが、危険にさらされている子どもたちに安全で魅力的な活動を提供してきました。

▷詳細／7月以来、イスタンブールの4つのロータリークラブが共同で、小学生を含む薬物使用率の高い地域に焦点を当てたプロジェクトを実施しています。このプロジェクトの目的は、路上で放っておかれることが多い子供たちに、安全で有意義な場所を提供することです。毎週、異なるロータリークラブが会員、家族、友人とともに、ボランティアと子供たちが交流できる朝食会から始まるアクティビティを企画します。これらの子供たちの多くは大家族で育ち、個別の配慮が不足しているため、アクティビティでは自尊心と心のつながりを育むことに重点を置いています。アクティビティには、絵画セッション、ビジョンボードワークショップ、花輪作りなどのクリエイティブプロジェクト、映画上映などがあります。最初に子供たちのニーズを評価するために心理評価が行われ、最後に再評価する予定です。新年のお祝いでは、プレゼントと大きなケーキが子供たちに贈られました。

▷プロジェクトのカテゴリー／社会奉仕、青少年

▷実施地／イスタンブール、トルコ

▷地域社会の調査：どのように地域社会のニーズを調査したか。／私たちは、直接観察、地元のロータリークラブとの協力、児童心理学者の支援を通じて、地域のニーズを特定しました。このプロジェクトは、小学生の間でさえ薬物使用が驚くほど高いイスタンブールの地域を拠点としています。子どもたちの多くは大家族の出身で、個別の配慮や情緒的サポートが不足しています。子どもたちの情緒的および発達のニーズをよりよく理解するために、学期の初めに児童心理学者による評価を実施しました。これらの評価と、毎週の活動中の定期的な交流に

より、情緒的つながり、創造性、自尊心を育むプログラムを形作ることができました。

▷プロジェクトの効果：プロジェクト終了後、地域社会がどのように改善されるか／このプロジェクトは、短期的なサポートを提供するだけでなく、持続的な影響を生み出すように設計されています。子供たちが自尊心を築き、価値を感じ、感情的な回復力を養うのを助けることで、将来的に有害な行動に陥るリスクを減らすことを目指しています。ボランティアやロールモデルと築いた関係は、プロジェクトの期間を超えて子供たちの生活に影響を与え続けます。さらに、プログラムの前後に実施される心理評価は、コミュニティの変化するニーズに合わせた将来の取り組みを導くのに役立ちます。

▷持続可能性：プロジェクト終了後、どのようにプロジェクトの失敗が続くか／このプロジェクトは、複数のロータリークラブを巻き込み、長期にわたるボランティア活動の奨励、子どもたちとの強いつながりの構築など、持続可能性を念頭に置いて設計されました。子どもたちが身につけた自己価値、信頼、コミュニケーションなどの感情的および社会的スキルは、プロジェクト終了後も長く子どもたちの成長を支え続けるでしょう。さらに、心理的評価を通じて収集された経験とフィードバックは、他の地域でのプログラムの改良と再現に活用されます。クラブ間の協力により、長期にわたって維持および拡大できるモデルも生まれます。現在、私たちはこのプロジェクトを継続しており、次のロータリー年度にも継続する予定です。（My Rotary 奉仕プロジェクトセンターより）

